



^13  
4331  
3

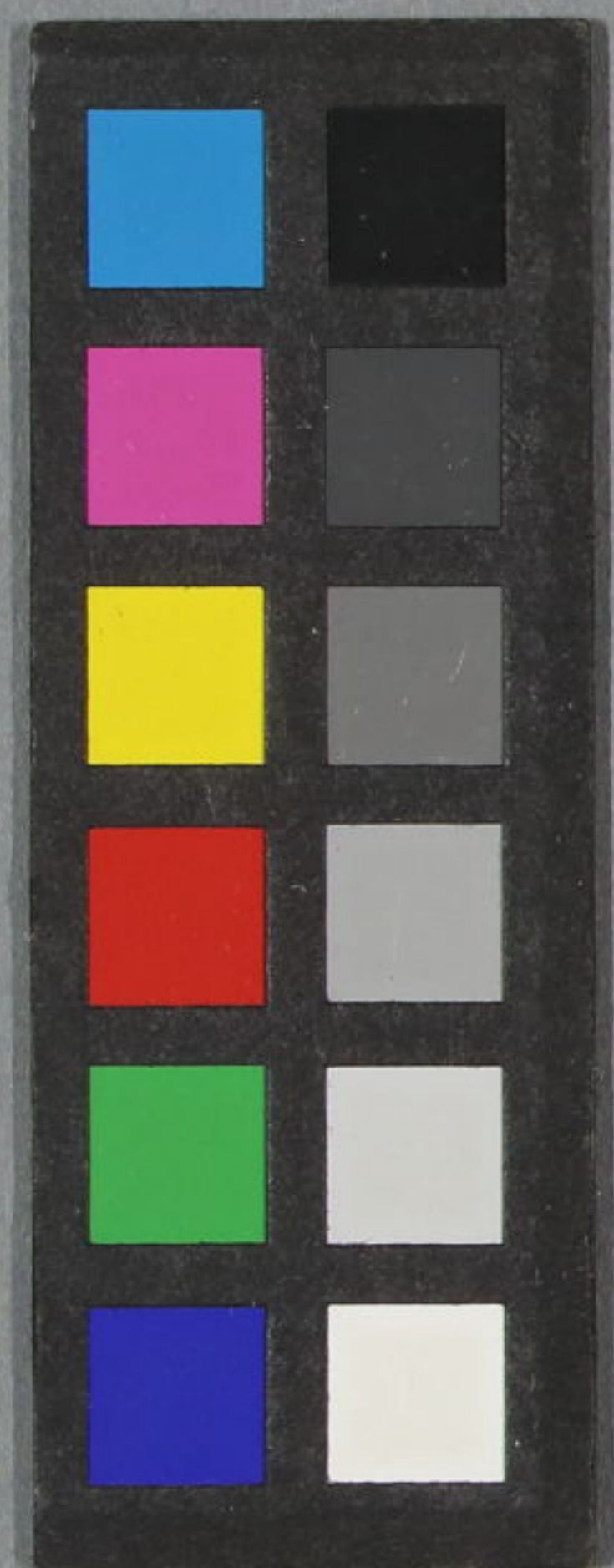


^13  
4331  
2

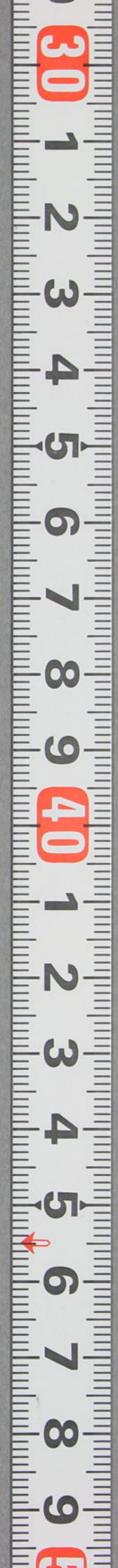


^13  
4331  
1





^13  
4331  
1



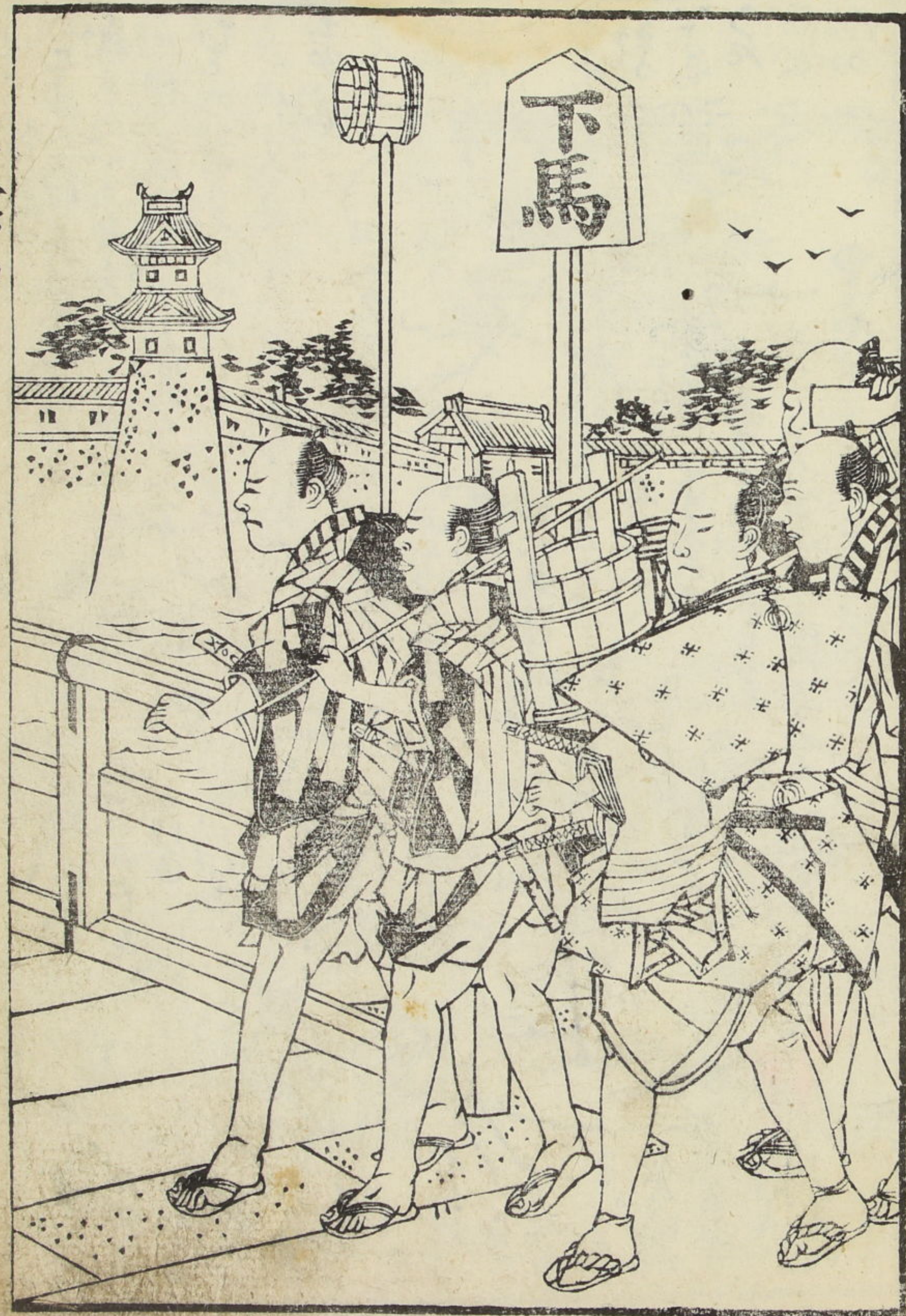


君と舟あり居ハ水あり水あり船城浮むの吉  
 洛秀左工門忠教公ハ神君秘藏の忠臣と徳川  
 無類の戯簾師あり巫山戯の中ハ意味深長  
 勸善懲惡自然と備り智仁勇の徳と  
 假名で書たる大穴保日記名卷の榮神皇  
 了井伊本多と徳初雅なる相かゝるは  
 徳意願成をそのハ

徳意願成をそのハ  
 徳意願成をそのハ

徳意願成をそのハ

大久保



○五十  
 駕籠の  
 大久保  
 彦左門  
 登城の  
 とまろ

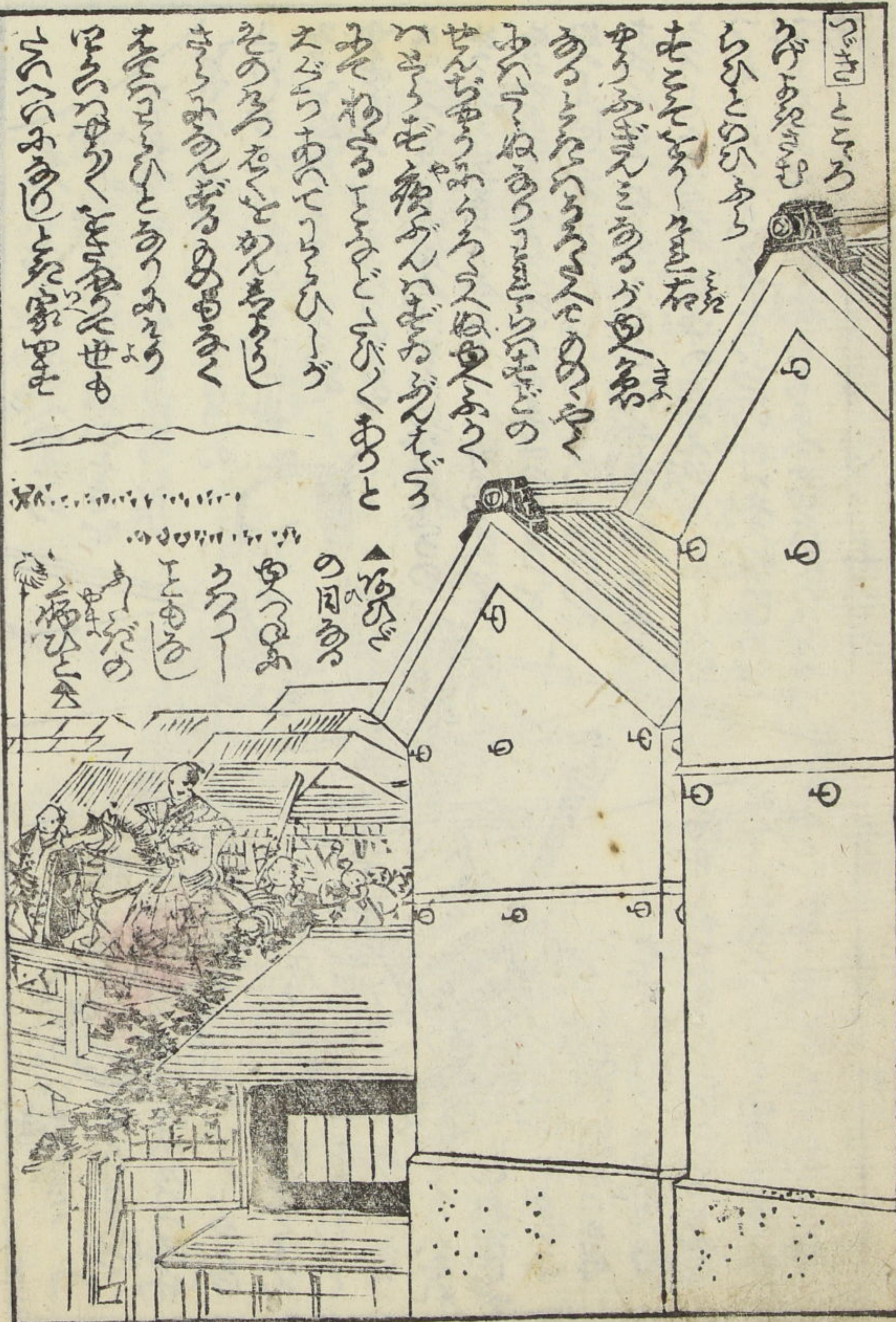




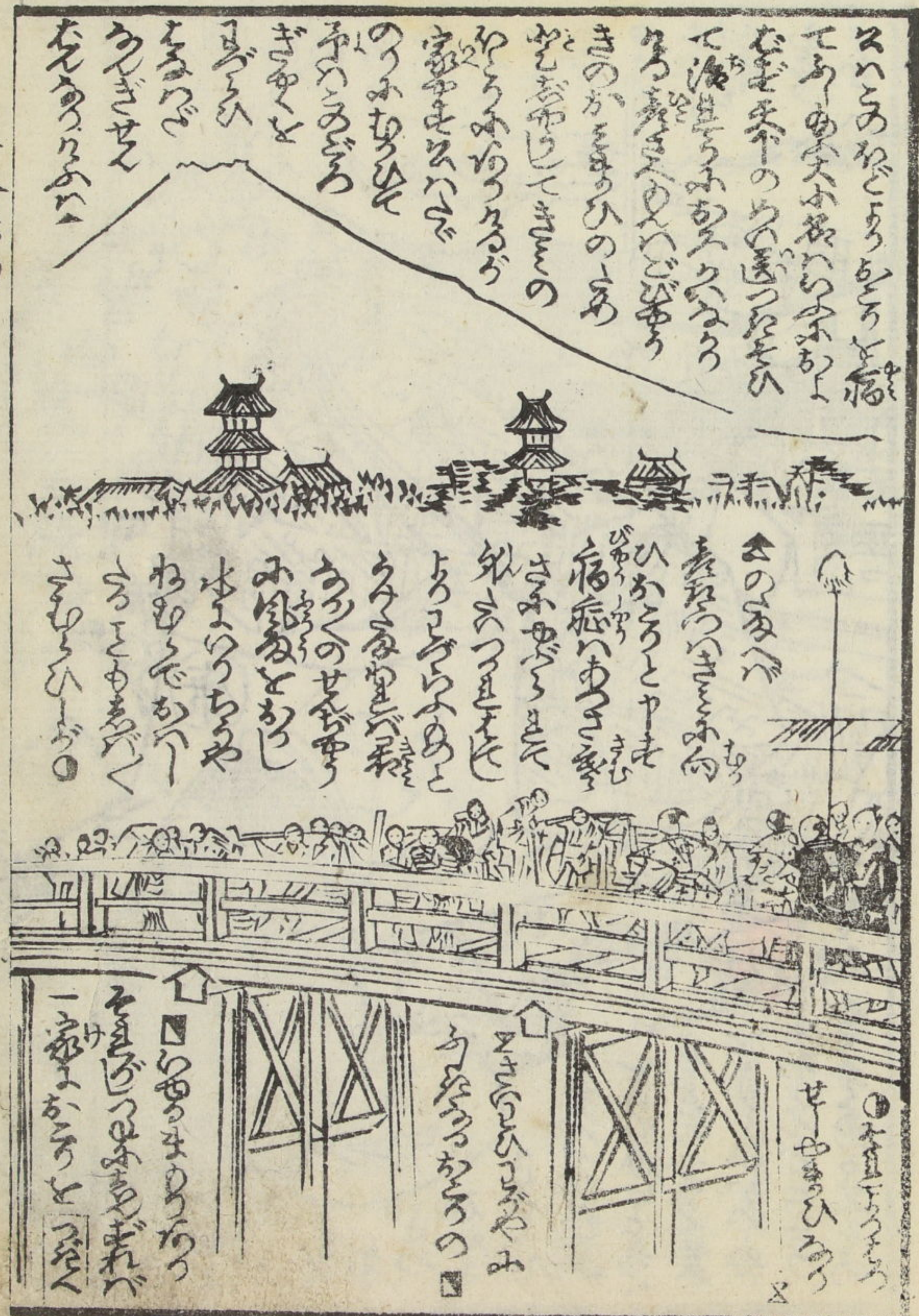








一ノ間  
 二ノ間  
 三ノ間  
 四ノ間  
 五ノ間  
 六ノ間  
 七ノ間  
 八ノ間  
 九ノ間  
 十ノ間  
 十一ノ間  
 十二ノ間  
 十三ノ間  
 十四ノ間  
 十五ノ間  
 十六ノ間  
 十七ノ間  
 十八ノ間  
 十九ノ間  
 二十ノ間  
 二十一ノ間  
 二十二ノ間  
 二十三ノ間  
 二十四ノ間  
 二十五ノ間  
 二十六ノ間  
 二十七ノ間  
 二十八ノ間  
 二十九ノ間  
 三十ノ間  
 三十一ノ間  
 三十二ノ間  
 三十三ノ間  
 三十四ノ間  
 三十五ノ間  
 三十六ノ間  
 三十七ノ間  
 三十八ノ間  
 三十九ノ間  
 四十ノ間  
 四十一ノ間  
 四十二ノ間  
 四十三ノ間  
 四十四ノ間  
 四十五ノ間  
 四十六ノ間  
 四十七ノ間  
 四十八ノ間  
 四十九ノ間  
 五十ノ間



一ノ間  
 二ノ間  
 三ノ間  
 四ノ間  
 五ノ間  
 六ノ間  
 七ノ間  
 八ノ間  
 九ノ間  
 十ノ間  
 十一ノ間  
 十二ノ間  
 十三ノ間  
 十四ノ間  
 十五ノ間  
 十六ノ間  
 十七ノ間  
 十八ノ間  
 十九ノ間  
 二十ノ間  
 二十一ノ間  
 二十二ノ間  
 二十三ノ間  
 二十四ノ間  
 二十五ノ間  
 二十六ノ間  
 二十七ノ間  
 二十八ノ間  
 二十九ノ間  
 三十ノ間  
 三十一ノ間  
 三十二ノ間  
 三十三ノ間  
 三十四ノ間  
 三十五ノ間  
 三十六ノ間  
 三十七ノ間  
 三十八ノ間  
 三十九ノ間  
 四十ノ間  
 四十一ノ間  
 四十二ノ間  
 四十三ノ間  
 四十四ノ間  
 四十五ノ間  
 四十六ノ間  
 四十七ノ間  
 四十八ノ間  
 四十九ノ間  
 五十ノ間



康  
 子  
 康  
 子  
 康  
 子

康  
 子  
 康  
 子  
 康  
 子

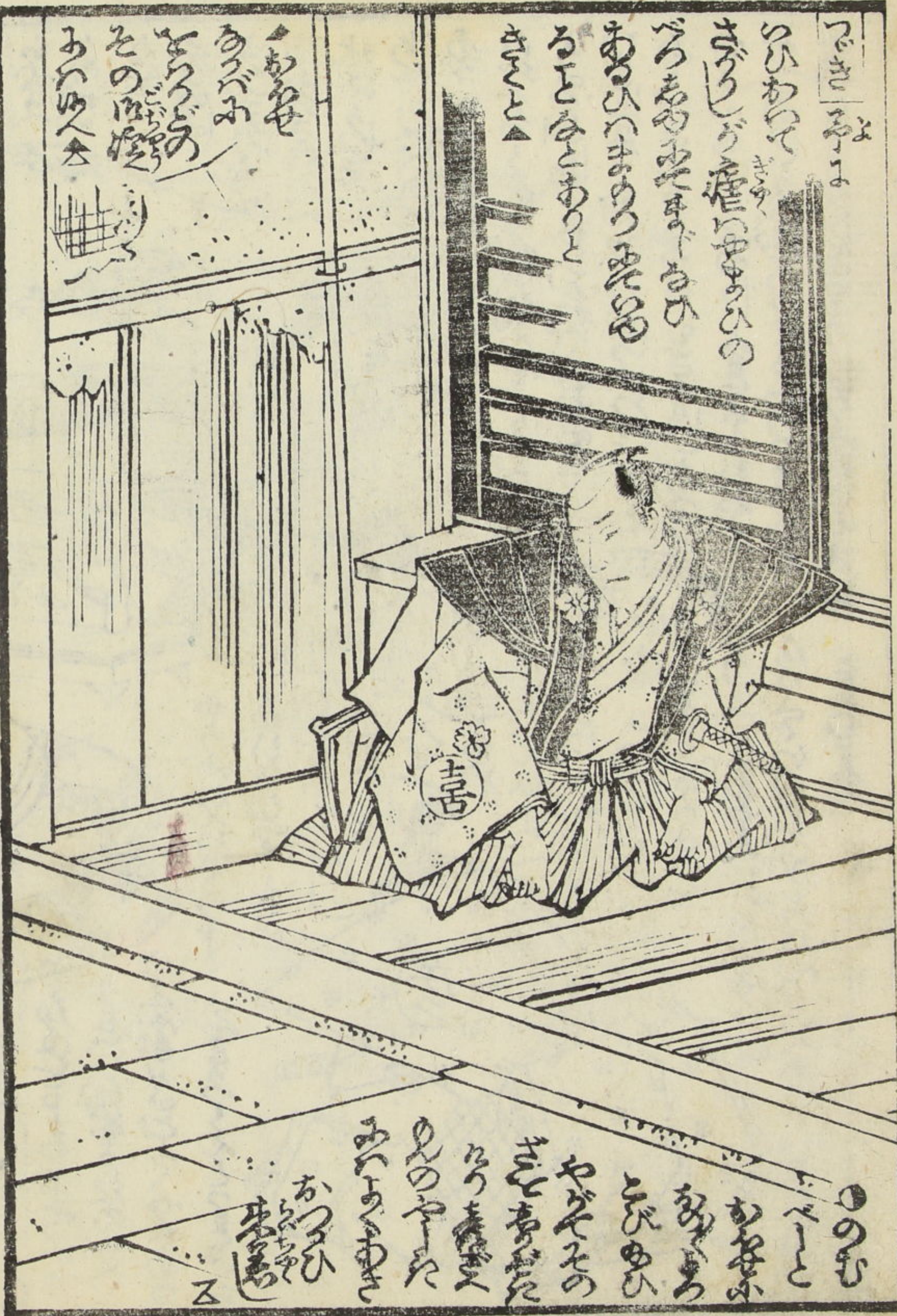
康  
 子



彦  
 子  
 彦  
 子  
 彦  
 子

彦  
 子  
 彦  
 子  
 彦  
 子

彦  
 子



ついでに

のひあつて  
まじろぐに  
ごらあま  
あひま  
る

あつて  
あつて  
あつて  
あつて  
あつて

のひ  
あつて  
あつて  
あつて  
あつて  
あつて  
あつて  
あつて  
あつて  
あつて



のひあつて  
まじろぐに  
ごらあま  
あひま  
る

あつて  
あつて  
あつて  
あつて  
あつて

あつて  
あつて  
あつて  
あつて  
あつて

木下信村

此の巻の初めに  
あるは、  
大正の初めに  
あるは、  
大正の初めに  
あるは、  
大正の初めに  
あるは、



○此の巻の初めに  
あるは、  
大正の初めに  
あるは、  
大正の初めに  
あるは、  
大正の初めに  
あるは、

十



此の巻の初めに  
あるは、  
大正の初めに  
あるは、  
大正の初めに  
あるは、  
大正の初めに  
あるは、

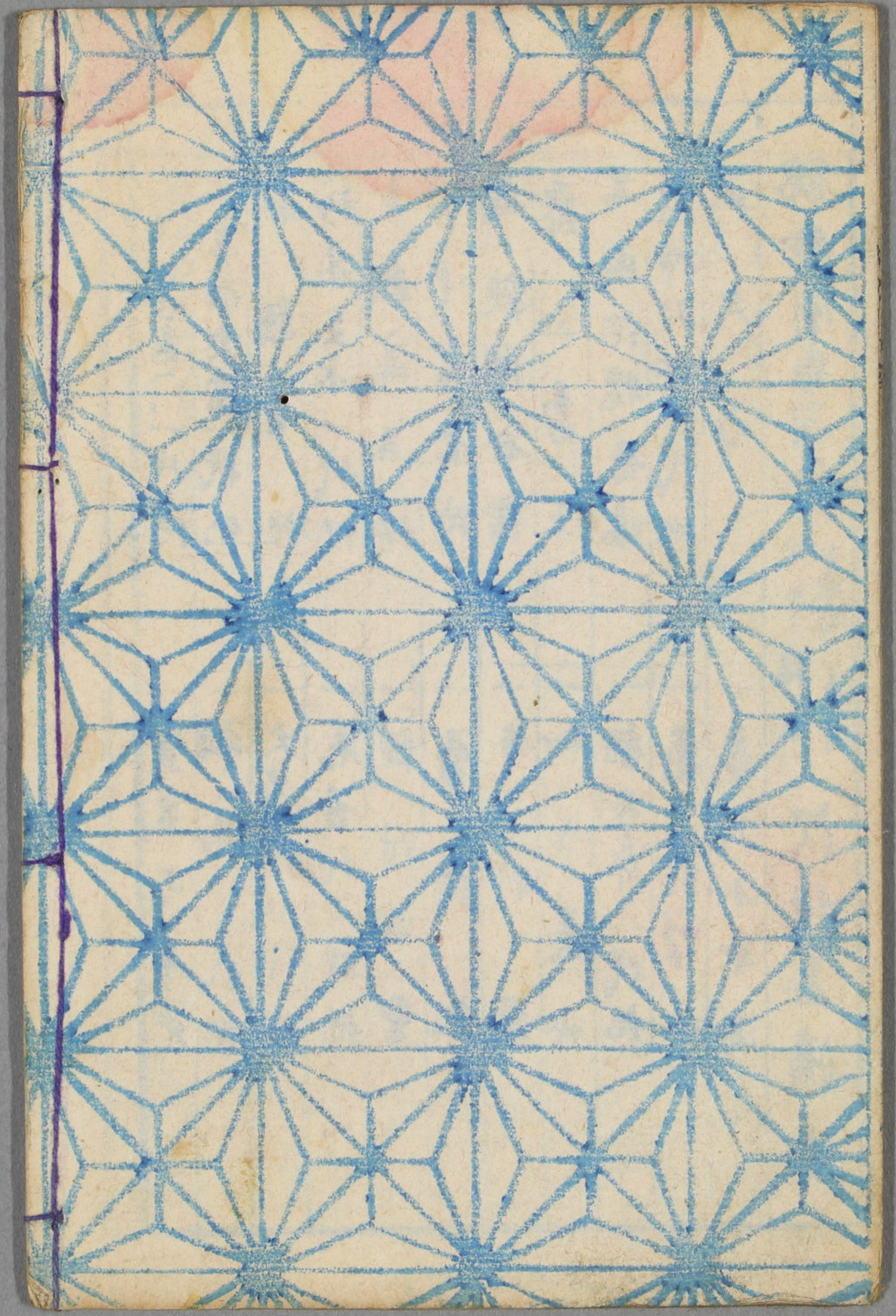
此の巻の初めに  
あるは、  
大正の初めに  
あるは、  
大正の初めに  
あるは、  
大正の初めに  
あるは、

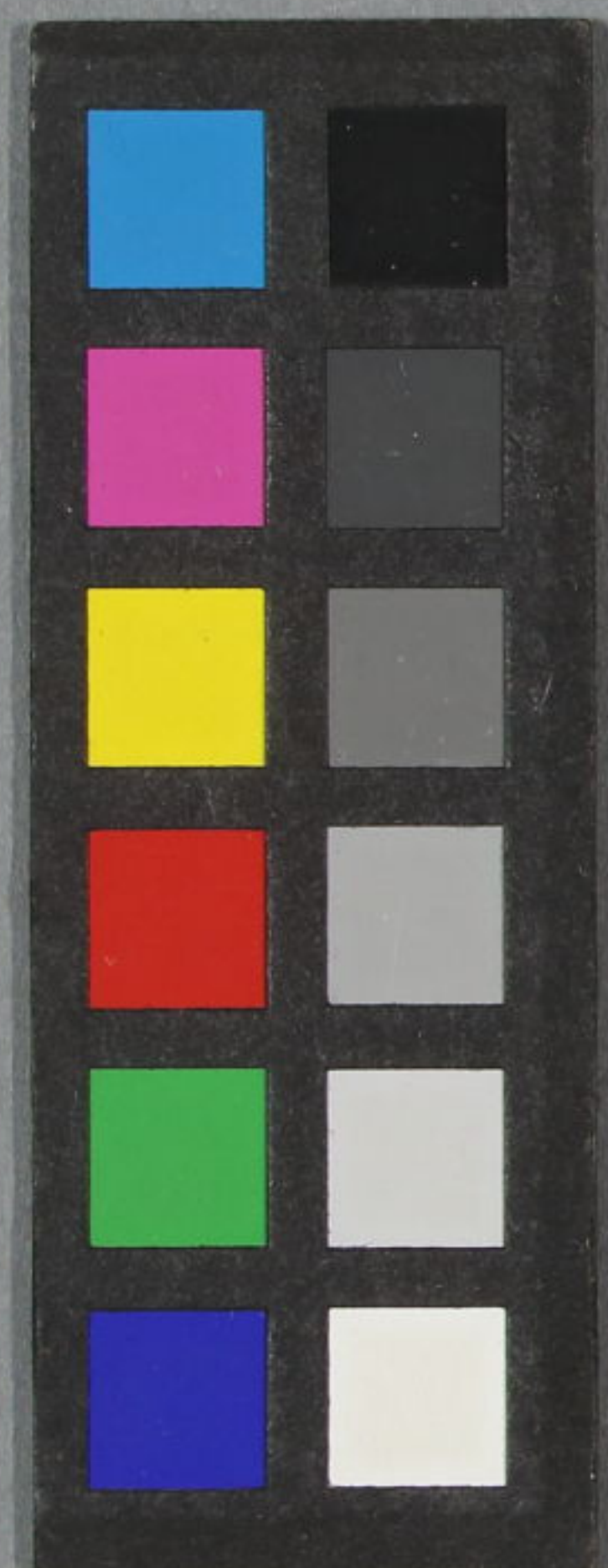
木下信村



周義画

石川 五右衛門 一代 他	豊後 吉平 代
大分 津島 兵衛 一代 他	相馬 一代 他
秋 頼 日 代	大久保 一代 他
冷本 五水 一代 他	毛吉村 一代 他
本朝 高 昌 代	但付 國 會
川 中 彦 合 代	豊 徳 代
橋 狭 間 合 代	本 代 豊
森 上 勇 士	加 久 長 小
石 岡 元 徳 香 代	朝 吉 小 代 他
鬼 神 太 右 一代 他	荒 俣 守 代
又 大 力	島 入 小 平 代
錦 繪 園 島 向 代	月 平 徳 代
	長 徳 三 百 代
	沢 村 春 清 代

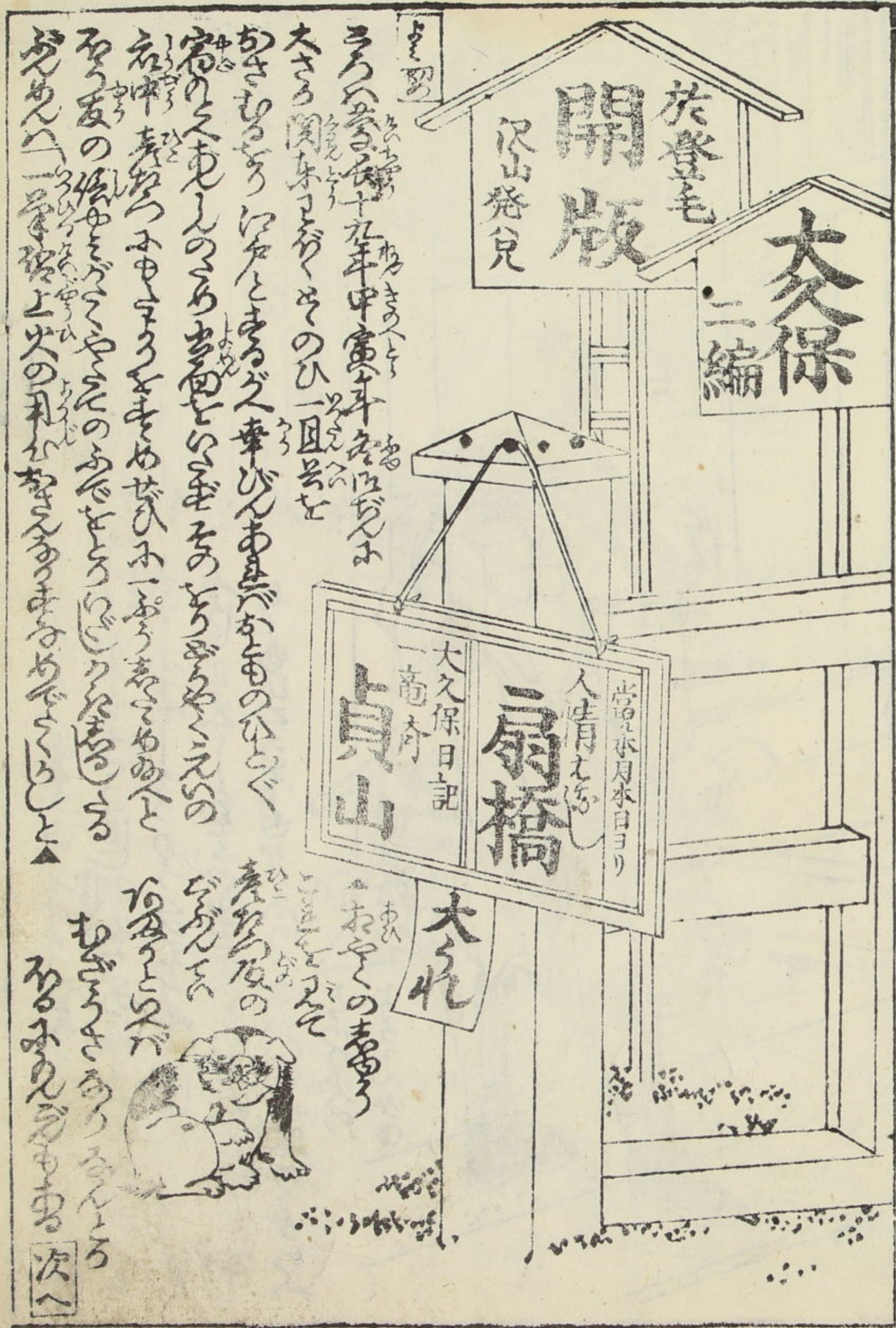




中の巻

^13  
4331  
2





大久保日記  
 貞山  
 扇橋  
 人情七五  
 常月水日ヨリ  
 大久保日記  
 一高片  
 貞山  
 扇橋  
 人情七五  
 常月水日ヨリ

大久保日記  
 貞山  
 扇橋  
 人情七五  
 常月水日ヨリ  
 大久保日記  
 一高片  
 貞山  
 扇橋  
 人情七五  
 常月水日ヨリ

大久保

次へ











ふたりの  
おぼろ  
おぼろ  
おぼろ  
おぼろ  
おぼろ

日本書紀の  
ひのあつり  
あが桐の木の  
ゆきよめ  
ゆきよめ

人のきさ  
まに  
まに  
まに  
まに  
まに



書  
ま  
ま  
ま  
ま  
ま  
ま

ま  
ま  
ま  
ま  
ま  
ま  
ま

ま  
ま  
ま  
ま  
ま  
ま  
ま













あへお  
あま  
あま  
あま  
あま  
あま  
あま  
あま  
あま  
あま

あま  
あま  
あま  
あま  
あま  
あま  
あま  
あま  
あま  
あま

あま  
あま  
あま  
あま  
あま  
あま  
あま  
あま  
あま  
あま

あま  
あま  
あま  
あま  
あま  
あま  
あま  
あま  
あま  
あま

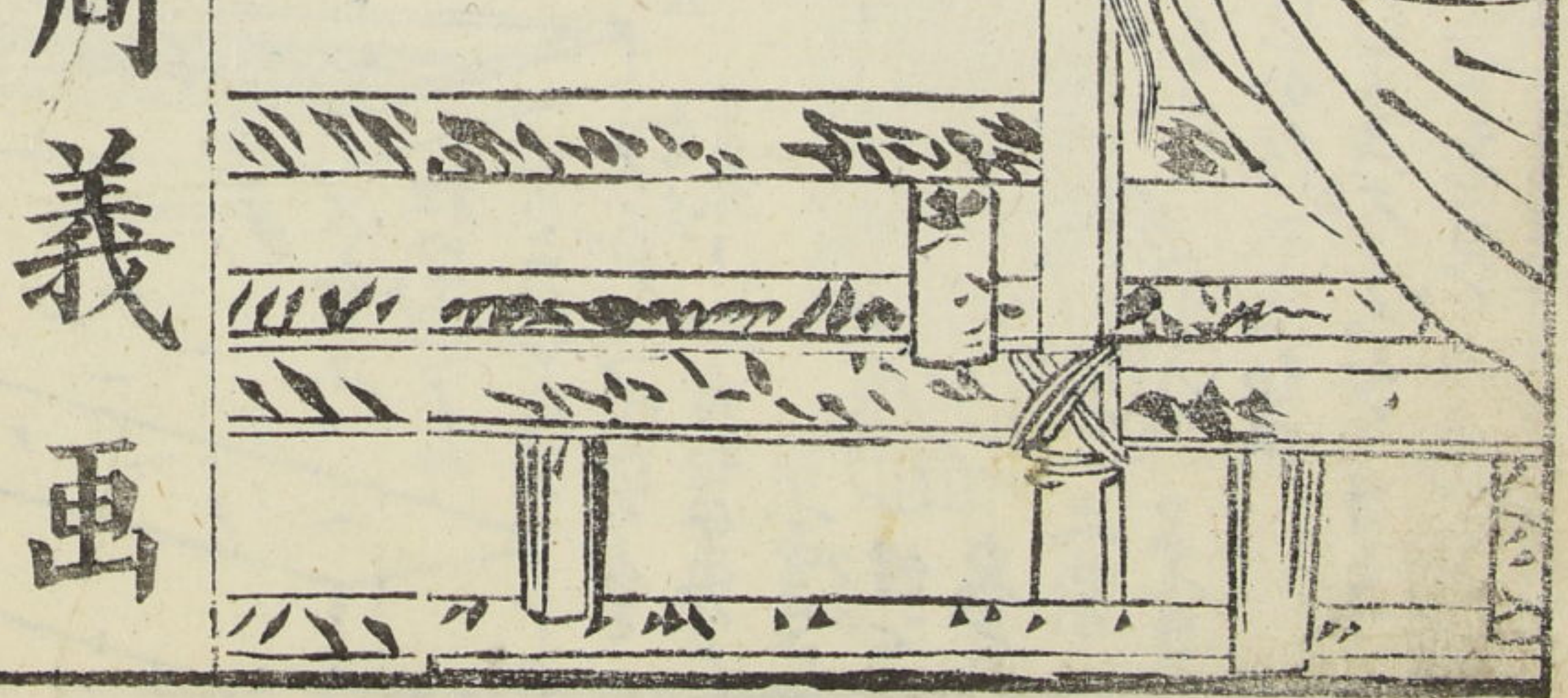


あま  
あま  
あま  
あま  
あま  
あま  
あま  
あま  
あま  
あま

大久保二

つきのまじり新嘉年を  
 まいて徳のうへにうまおねの  
 なるをまひか  
 こまひまひあう  
 みひま  
 あひのま  
 かまひあひ  
 めいじとまじり  
 つひをまひあひ  
 まひあひ  
 中をまひあひ  
 うまおねのうまおね  
 あうまおね  
 家の中のもの  
 とまひあひ

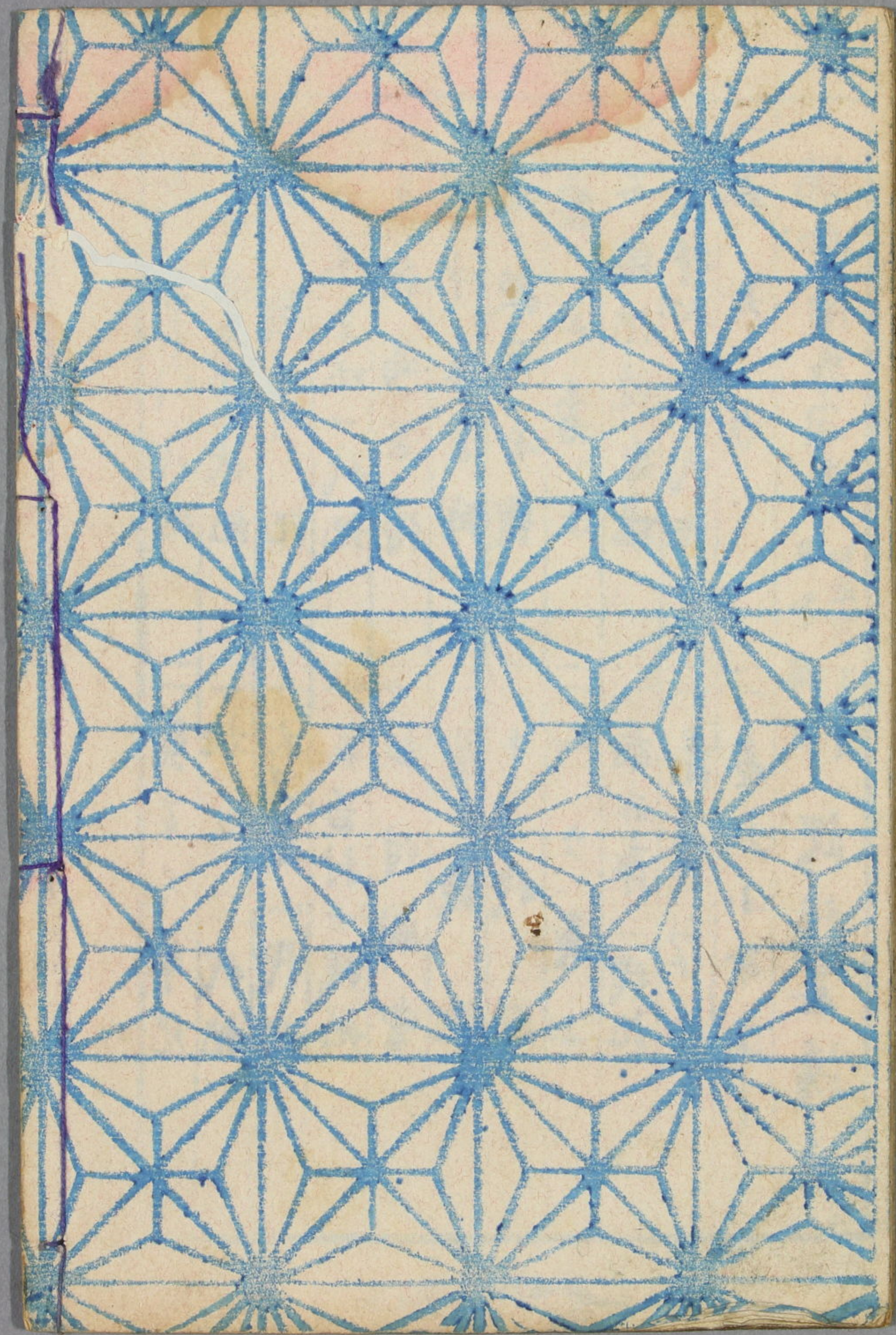
あひまひあひ  
 家のまひあひ  
 こまひまひ  
 △ゆちとまひあひ  
 家のまひあひ  
 まひあひ  
 まひあひ  
 まひあひ  
 まひあひ  
 まひあひ

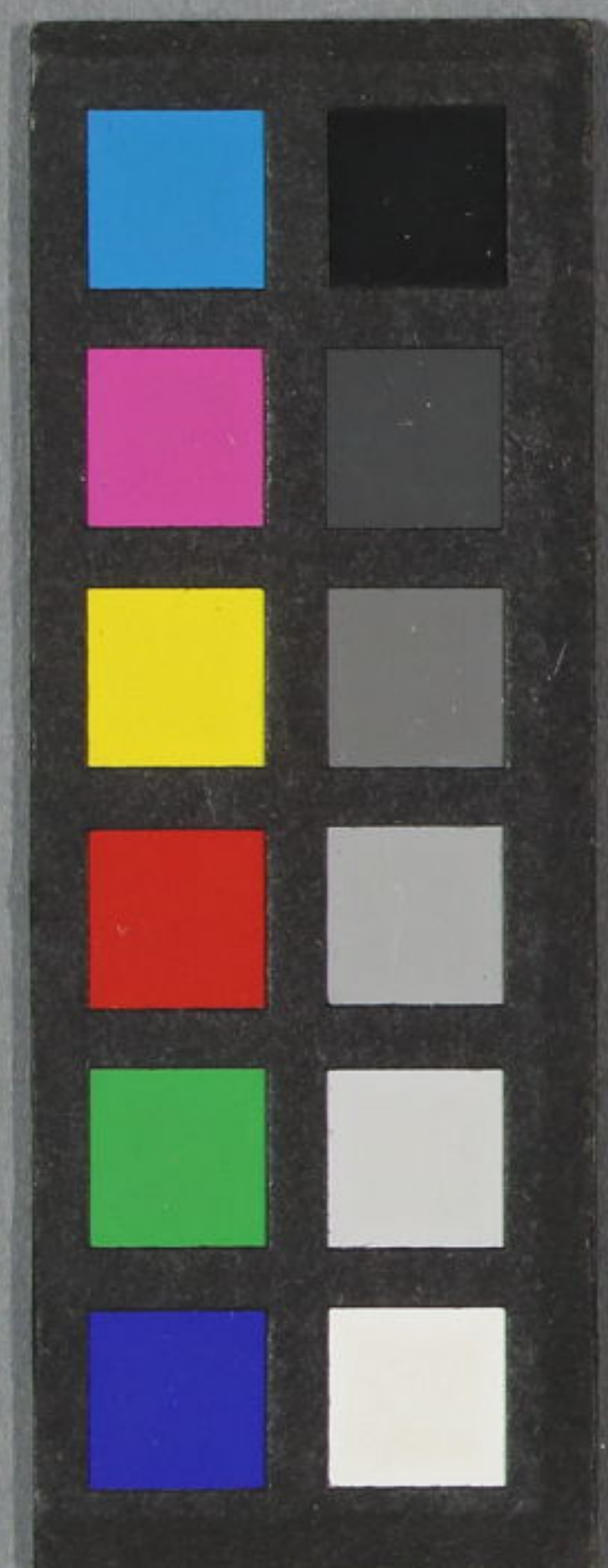


周義画

石川五右衛門一代他	豊後五右衛門
大空徳兵衛一代他	相馬一代他
柳 柳 他	大又徳一代他
谷本五右衛門一代他	毛吉村一代他
本 朝高 傳	徳村 傳
川 中 合 城	豊 城 他
福 徳 合 城	平 代 豊
森 上 勇 士	加 上 長 山
石岡徳徳 傳	徳本 傳 一代他
鬼神お松 一代他	花 傳 他
大 大 力	入 小 平 傳

錦繪園春問屋 日本橋区 京橋二丁目番 沢村春清 去





日  
興  
京  
廻  
回

下  
の  
巻

^13  
4331  
3





どの目を見て  
 何物をものその  
 まらびびしくた  
 むとてかゝる一ッ  
 家考るるぬ  
 らも下るえ  
 りとのの  
 ぬえたり  
 一がさるる  
 ち海ををええ  
 室中のものを  
 よびあめたるか  
 とありのこそぬー  
 きまべとめいっえ  
 のりまとを疾の▲

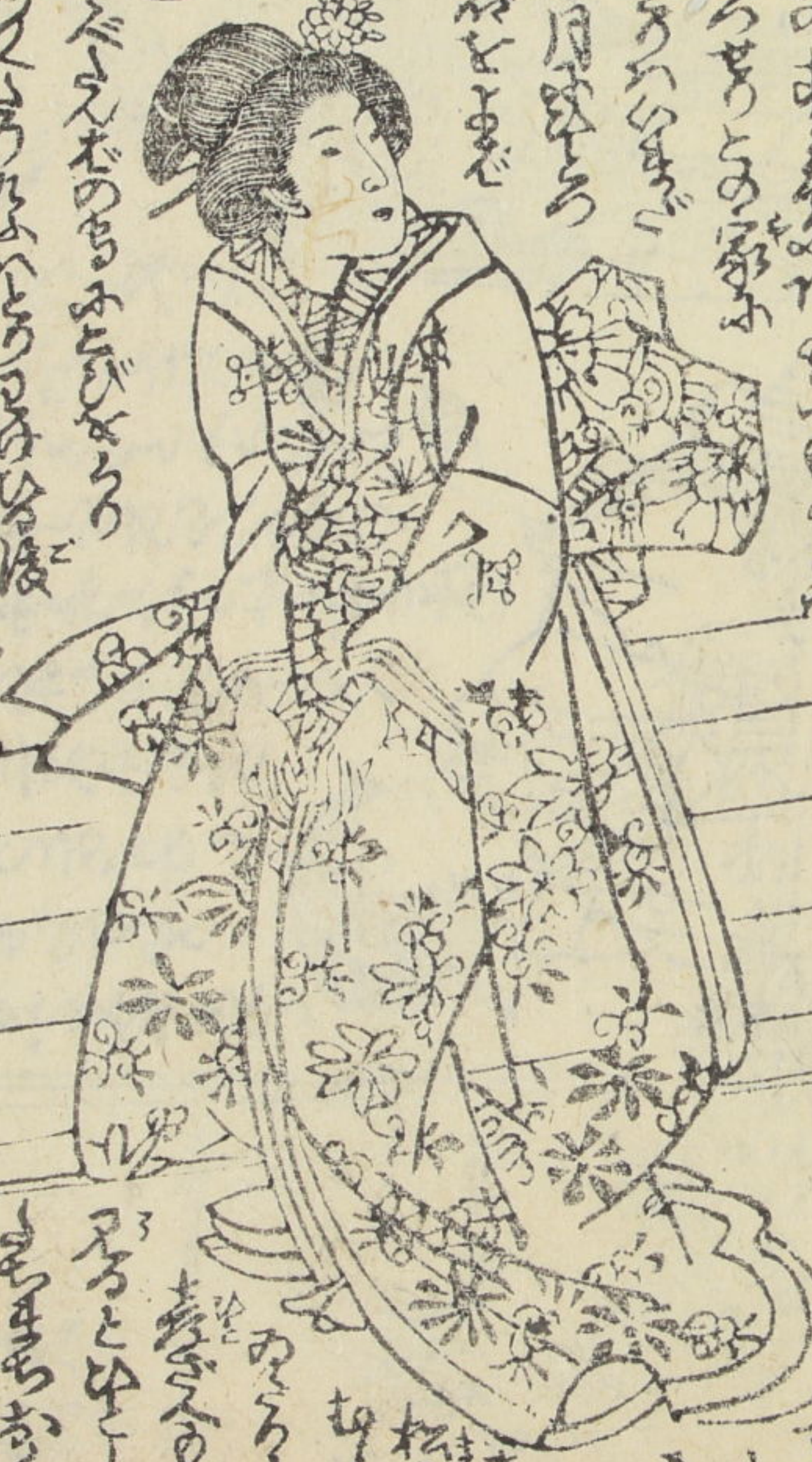
夫さまを身どろろ元和  
 六年の八軒年分の  
 ぶと名を

大とつひひの  
 の所をまはる  
 毛びりたるぬ  
 小あうと兼  
 小さの作と  
 櫛ぐんとあふ門傍るる  
 ぬまより

二八

〆まゝにさう  
 先づさうの  
 のんちやう  
 つばありののんち  
 ちんちん下りさび

〆まゝにさう  
 先づさうの  
 のんちやう  
 つばありののんち  
 ちんちん下りさび



〆まゝにさう  
 先づさうの  
 のんちやう  
 つばありののんち  
 ちんちん下りさび



〆まゝにさう  
 先づさうの  
 のんちやう  
 つばありののんち  
 ちんちん下りさび

〆まゝにさう  
 先づさうの  
 のんちやう  
 つばありののんち  
 ちんちん下りさび



此圖畫一室中  
 有書架及書  
 有桌及椅  
 有窗及門  
 有松竹  
 有山水  
 有花鳥  
 有人物  
 有器物  
 有文字  
 有詩句  
 有故事  
 有寓意  
 有風情  
 有雅趣  
 有文氣  
 有士氣  
 有君子之風  
 有小人之心  
 有忠臣之節  
 有孝子之誠  
 有義士之勇  
 有節婦之烈  
 有忠臣之節  
 有孝子之誠  
 有義士之勇  
 有節婦之烈



此圖畫一室中  
 有書架及書  
 有桌及椅  
 有窗及門  
 有松竹  
 有山水  
 有花鳥  
 有人物  
 有器物  
 有文字  
 有詩句  
 有故事  
 有寓意  
 有風情  
 有雅趣  
 有文氣  
 有士氣  
 有君子之風  
 有小人之心  
 有忠臣之節  
 有孝子之誠  
 有義士之勇  
 有節婦之烈  
 有忠臣之節  
 有孝子之誠  
 有義士之勇  
 有節婦之烈













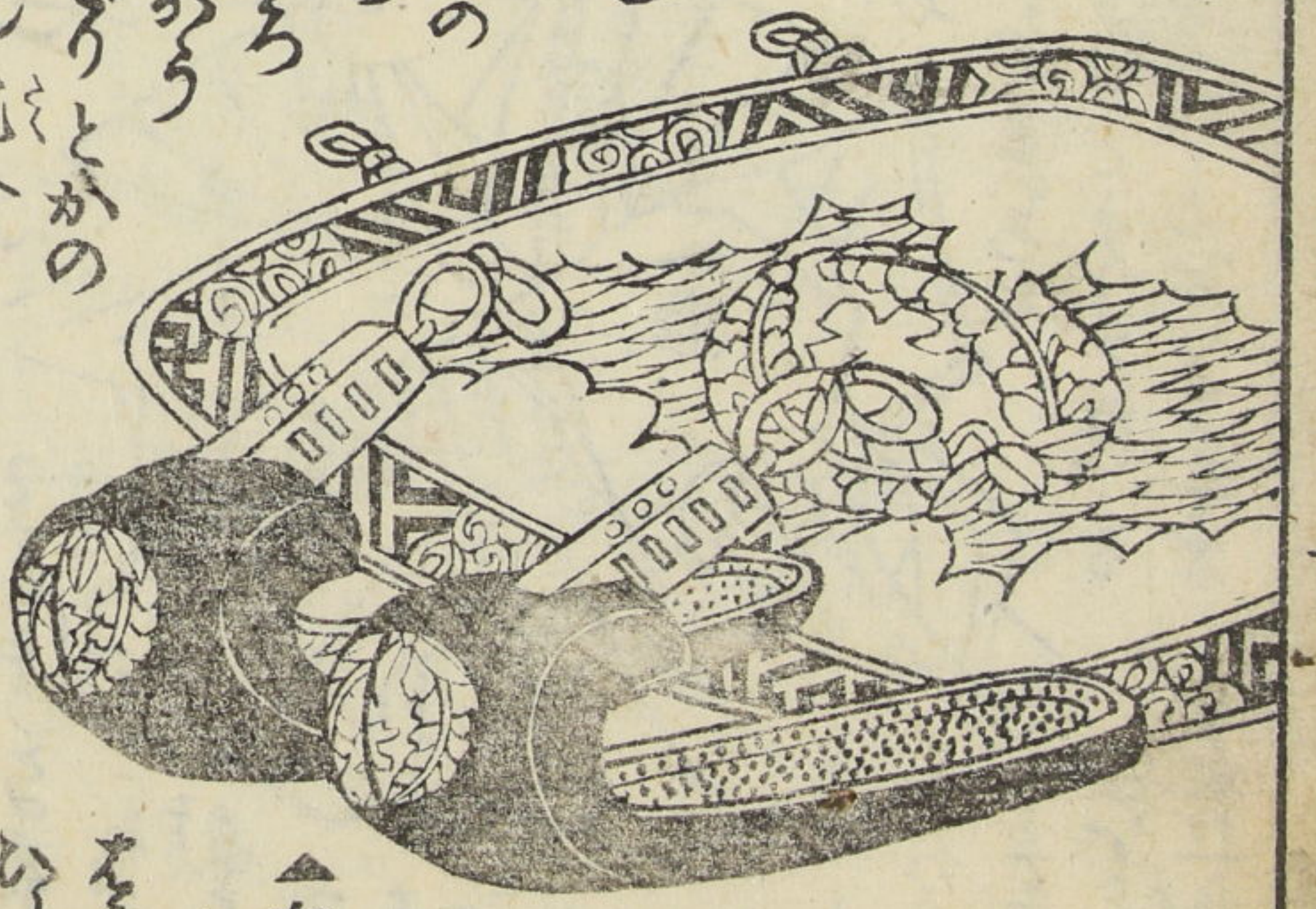




つきのあつく大いふかどあれたるまゝ  
 の我まもあひまよるついであつく  
 知らざらつたそらひせびまゝあつて  
 うりやうんと早くあつたやうに  
 ぶつりうーあつたひなれをむむ  
 作せしむまゝ家たのまゝあつて  
 るるまゝあつたあつたあつたあつた  
 のよらひるついであつたあつたあつた  
 むのよらひるついであつたあつたあつた

御扇明治十  
 五年四月四日  
 本銀三十三目十  
 板元 武川清吉

# 周義画



ふあう  
 せりとかの  
 せん  
 ひたうり

かん  
 ぶの  
 せん  
 ひたうり

一 石川五右衛門一代死	一 豊後半代
一 天竺徳兵衛一代死	一 相馬一代死
一 朝 類 日 死	一 大久保一代死
一 冷木主水一代死	一 毛呂村一代死
一 本朝高名傳	一 銀付園會
一 川中壺合	一 勇 戦 死
一 橋 狭間合	一 千 代 最
一 森 之 勇 士	一 加 々 美 小
一 石岡元徳	一 越 中 一 代 死
一 鬼神お松一代死	一 若 咲 一 代 死
一 大 力	一 遠 入 小 本 一 代 死

錦繪園扇同巻  
 月平 権五  
 本銀三十三目  
 武川清吉



~ 13  
4331